

施策：	19	人権尊重のまちづくり	財務コード	01090611-03-597
基本事業：	02	同和問題の解決	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	同和地区住民の失業率		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成26年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
歴史的又は社会的理由により生活環境等の安定向上を図る地域及びその周辺地域（以下「地域」という）の住民		地域住民が運営する7つの部（女性部、子ども会、老人部、成人男子部、青年部、子ども会育成会、各種学級）による組織的な教育活動に対して補助金を交付する。 教育活動の内容は、定例学習、健康学習、研修会、地域交流事業活動、野外活動、体験活動、日常的学習・活動、館外学習、地域活動等である。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		各種学級の内容は、英会話、音楽、健康料理、ヨガ、健康体操、アートフラワー、手芸、生け花、盆栽等である。				
地域住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地域住民の生活の向上を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
学習会等への参加者数	人	16,893	18,081	20,000	20,000			20,000

5. コスト								
事業費	計	千円	3,826	3,953	4,032	4,032		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	3,826	3,953	4,032	4,032			
正職員人工数	人工		0.1	0.1	0.1			
正職員人件費	千円		782	802	838			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		4,608	4,755	4,870	4,032		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	令和6年度の各部会の参加延べ人数（ ）内は令和5年度							
どちらかといえばあがっている	・女性部	874人（ 648人）			・各種学級	2,083人（ 1,836人）		
	・子ども会	6,852人（ 8,274人）			【合計】	18,081人（ 16,893人）		
	・老人部	2,572人（ 2,106人）						
	・成人男子部	3,972人（ 2,718人）						
あがっていない（停滞・低下）	・青年部	131人（ 38人）						
	・子ども会育成会	1,597人（ 1,273人）						

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）		改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）						
重要な事業であるので、活動の見守り支援を継続する。						

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
地域のおかれている立場を自覚し、真に人権尊重の理念を学びながら、部落差別から立ち上がり、差別をはねかえし、差別に負けず、自ら解放の主眼をみだし、部落解放の主体的力量を培い、もって部落解放に資することを目的として開始された。地域の状況に応じた取り組みを行っている。	平成26年度から、各部運営学級育成補助金の7つ「女性部、子ども会、老人部、成年、青年部、子ども会育成会、各種学級」を統合し、1つの事務事業とした。（1つの事業の中で、7つに区分している。）